

発刊にあたって

「営繕のあゆみ2021」の発刊にあたり、ごあいさつを申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大が始まって3年、今なお世界中で猛威を振るい、経済、社会活動に甚大な影響を及ぼしております。県の営繕業務においても、現場における感染予防対策をはじめ、リモート会議や遠隔検査など様々な対応を行っており、引き続き細心の注意を持って必要な対策を実施していきたいと考えております。

さて、沖縄県の営繕業務においては、施設それぞれの用途に応じた機能性確保や防災対策、環境負荷低減、施設の長寿命化、地域景観への配慮など、良質な公共建築ストック資産形成の推進に努めているところです。

設計委託にあたっては、従来の競争入札方式に加え、総合評価方式や公募型プロポーザル方式など、多様な手法を採用し、適切な設計者の選定及び品質向上を図っております。また、平成23年度から開催している「アンダー40コンペ」は令和3年度に第10回目の節目を迎え、過去のコンペ金賞作品による施設整備も進んでおり、既に9施設が供用に至っております。若手建築士の育成及び建築技術の向上につながる取り組みとして、今後も継続していきたいと考えております。

工事発注にあたっては、変化の激しい建築市場の動向に注意しながら、それぞれの工事内容に応じた適正な予定価格を設定し、透明性・公平性のある入札を行うとともに、建築現場の更なる安全の確保や働き方改革の推進に努めてまいります。

また、沖縄総合事務局及び県内市町村と連携し、技術力の向上や情報共有を行い、県民が求める公共建築物の品質確保や、高度・多様化するニーズへの対応、建築BIMなど新たな建築技術の活用や2050年のカーボンニュートラルに向けた建築物の省エネルギー化などの課題にも取り組んでまいります。

「営繕のあゆみ2021」は、令和3年度に完成した県有建築物の概要を整理し、今後の営繕行政のさらなる発展や改善に寄与することを目的に編集したものです。本県の営繕行政について、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、発刊のあいさつといたします。

令和4年12月

沖縄県土木建築部施設建築課
課長 金城新吾

営繕のあゆみ2021
—第37号—

目次

発刊にあたって

I. 業務概要

- 1. 業務の目的 . . . 1
- 2. 業務の概要 . . . 1
- 3. 年度別事業量の推移 . . . 2
- 4. 令和3年度 営繕業務の契約概要 . . . 3

II. 特集

- 特集－1 復帰後50年のあゆみ . . . 4
- 特集－2 沖縄県立那覇みらい支援学校 . . . 6
- 特集－3 おきなわ工芸の杜 . . . 8

III. 主な完成建物

- 1. 農林水産部 高度衛生管理型荷捌施設 . . . 10
- 2. 環境部 沖縄戦跡国定公園喜屋武岬園地休憩所 . . . 11
- 3. 土木建築部 県営南風原第二団地（第2期） . . . 12
- 4. 土木建築部 県営大謝名団地（第3期） . . . 13
- 5. 土木建築部 本部港屋根付荷さばき施設 . . . 14
- 6. 土木建築部 平和祈念公園休憩舎
中城公園自然共生エリア遊具広場トイレ . . . 15

IV. ティーダフラッグス

- 第10回 沖縄県アンダー40設計競技(ティーダフラッグス)について . . . 16

V. 工事記録

. . . 18

VI. 資料

- 1. 事務分掌と組織 . . . 28
- 2. 事業・手続きの流れ . . . 29

VII. 利用者満足度調査

. . . 30

VIII. 沖縄県行政機構図

. . . 31

編集後記

I. 業務概要

1. 業務の目的

営繕行政は、県民共有の財産である行政庁舎や、空港・港湾施設、県立学校、県営住宅、県営公園施設、産業振興関連施設等の県有建築物について、質の高い施設の整備を目的としている。

施設整備にあたっては、①防災対策などの安全性 ②イニシャルコスト、ランニングコスト低減などの経済性 ③施設の耐久性、長寿命化 ④バリアフリー、ユニバーサルデザインなどの機能性、利便性、快適性 ⑤省エネルギー、リサイクルの推進などの環境保全性 ⑥景観の向上や地域活性化への貢献などの基本的な性能に配慮し整備を進めている。

また、公共事業の役割として①業務発注の公平性・透明性の確保 ②県内企業優先活用、県産品の活用 ③技術力の向上や人材育成などを推進するほか、工事現場における働き方改革や新技術の導入など、社会状況の変化に応じた先導的な役割を担い、沖縄総合事務局や県内市町村と連携・情報共有し、公共建築物全体の質の向上に努めている。

*営繕とは、「建築物の営造と修繕」のことをいい、建築物の新築、増築、改築、修繕、模様替等の工事を指す。

2. 業務の概要

沖縄県における県有施設の整備等に係る事業費は、施設を所管する各部局において予算措置される。当課では事業所管課からの依頼を受け、施設整備の構想段階から技術的相談や必要な情報の提供、予算要求資料の作成等を行っており、予算成立後は事業費の分任を受け、施設整備に係る調査、設計、工事の発注及び監理業務等を行っている。

令和4年度の執行体制は、企画班、建築第1班、建築第2班、設備班の4班、技術職32名、事務職4名となっている。また、宮古地区、八重山地区及び北部地区の一部については、所管土木事務所による工事監督業務を行っている。



本部港屋根付荷さばき施設（本部町）

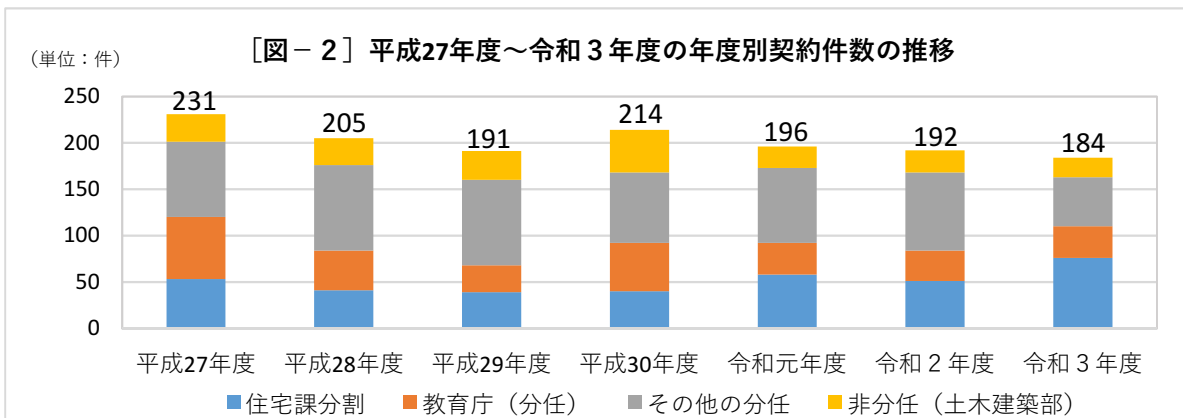
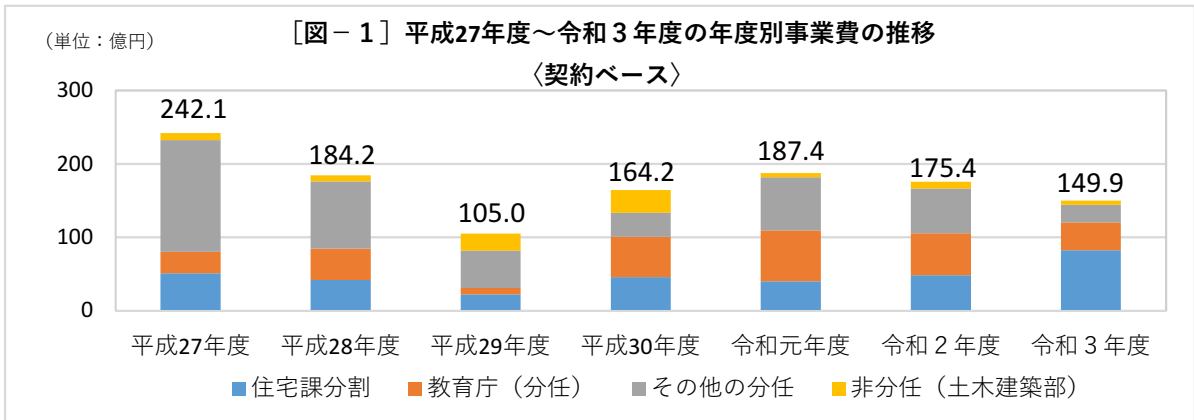
I. 業務概要

3. 年度別事業量の推移

施設建築課で行った平成27年度から令和3年度までの7年間の事業費及び件数はそれぞれ【図-1】【図-2】のとおりとなっており、令和3年度の実業費は約150億円である。
平成24年度の沖縄振興一括交付金の創設以降、「沖縄21世紀ビジョン実施計画」に基づく大型プロジェクトの整備推進などにより事業量が増大し、現在も高い水準が続いている。

各年度の主たる事業

平成27年度	沖縄クラウドデータセンター、沖縄県立離島児童・生徒支援センター、沖縄県立石川青少年の家、県営神森団地（第1期）、県営名護団地（第4期）
平成28年度	沖縄空手会館、沖縄県衛生環境研究所、具志川高校屋内運動場及び武道場、沖縄県総合運動公園多目的広場競技運営棟、県営大謝名団地（第1期）
平成29年度	沖縄県家畜衛生試験場、県営伊覇団地、名護高校普通教室・F科棟、首里高校管理・特別教室棟、県営南風原第二団地（第1期）
平成30年度	航空機整備施設、沖縄県立具志川職業能力開発校本館、沖縄県農業研究センター名護支所、県営新川団地（第1期）
令和元年度	糸満警察署、てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場、奥武山体験学習施設、本部港（本部地区）立体駐車場、県営南風原団地（第2期）
令和2年度	中央家畜保健衛生所、沖縄県アジアITビジネスセンター、県営新川団地（第2期）、名護高校校舎（第2期）、首里高校普通教室棟
令和3年度	那覇みらい支援学校、おきなわ工芸の杜、高度衛生管理型荷捌施設、県営大謝名団地（第3期）、平和祈念公園休憩舎、本部港屋根付荷さばき施設

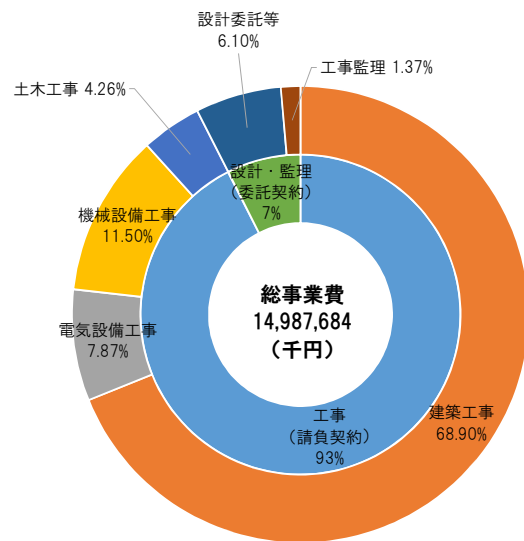
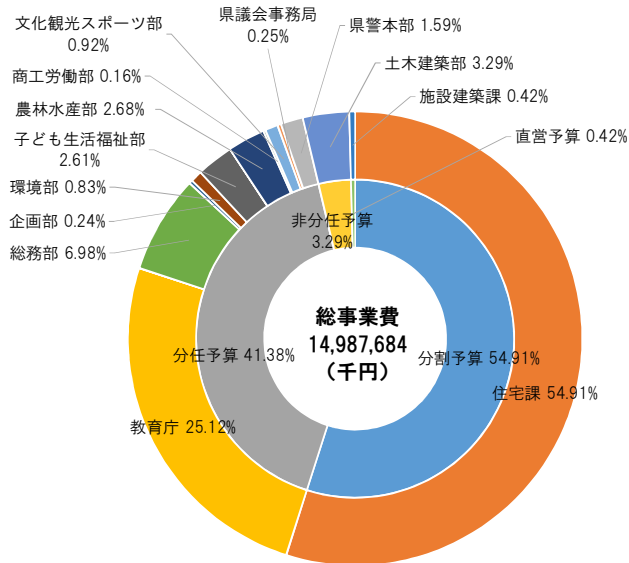


4. 令和3年度 営繕業務の契約概要

【表-3】 令和3年度 工事及び委託契約額（令和3年度契約分）

（単位：千円）

	工 事 契 約										委 託 契 約						(工事+委託) 契約	
	建築工事		電気設備工事		機械設備工事		土木工事		工事合計		設計		監理		委託合計		事業費総合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
(分割予算)																		
住宅課	37	6,165,611	4	628,435	7	893,041	3	217,813	51	7,904,900	13	225,039	12	99,234	25	324,273	76	8,229,173
(分任予算)																		
教育庁	7	2,246,585	3	361,567	4	470,645	2	384,053	16	3,462,850	13	241,796	5	60,425	18	302,220	34	3,765,070
知事公室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総務部	5	850,553	0	0	2	119,478	0	0	7	970,031	3	63,267	4	13,492	7	76,758	14	1,046,789
企画部	0	0	0	0	0	0	1	36,119	1	36,119	0	0	0	0	0	0	1	36,119
環境部	1	106,150	0	0	0	0	0	0	1	106,150	1	13,894	1	4,685	2	18,579	3	124,729
子ども生活福祉部	1	267,762	1	50,468	1	49,005	0	0	3	367,235	3	19,822	1	4,723	4	24,545	7	391,780
保健医療部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農林水産部	1	62,876	1	58,300	2	152,548	0	0	4	273,724	4	125,811	1	1,672	5	127,483	9	401,207
商工労働部	1	2,200	0	0	0	0	0	0	1	2,200	3	16,647	2	4,599	5	21,246	6	23,446
文化観光スポーツ部	1	48,631	1	41,492	1	39,501	0	0	3	129,624	2	4,884	3	3,009	5	7,893	8	137,517
県議会事務局	1	35,365	0	0	0	0	0	0	1	35,365	0	0	1	2,071	1	2,071	2	37,436
県警本部	1	110,957	0	0	0	0	0	0	1	110,957	1	125,446	1	1,913	2	127,359	3	238,316
小計	56	9,896,690	10	1,140,262	17	1,724,218	6	637,985	89	13,399,154	43	836,606	31	195,821	74	1,032,427	163	14,431,581
比率	62.9	73.9	11.2	8.5	19.1	12.9	6.7	4.8	100.0	100.0	58.1	81.0	41.9	19.0	100.0	100.0		
(非分任予算)																		
土木建築部	5	429,605	1	39,622	0	0	0	0	6	469,227	3	14,053	7	9,639	10	23,692	16	492,919
(直営予算)																		
施設建築課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	63,184	0	0	5	63,184	5	63,184
小計	5	429,605	1	39,622	0	0	0	0	6	469,227	8	77,237	7	9,639	15	86,876	21	556,103
合計	61	10,326,295	11	1,179,884	17	1,724,218	6	637,985	95	13,868,381	51	913,842	38	205,460	89	1,119,303	184	14,987,684
比率	64.2	74.5	11.6	8.5	17.9	12.4	6.3	4.6	100.0	100.0	57.3	81.6	42.7	18.4	100.0	100		



【図-3】 令和3年度 部局別事業割合

【図-4】 令和3年度 委託・工事種別事業割合

Ⅱ. 特集－1 復帰後 50 年のあゆみ

1972～1981
(S47～S56)



1982～1991
(S57～H3)



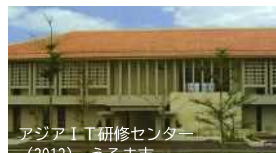
1992～2001
(H4～H13)



2002～2011
(H14～H23)



2012～2021
(H24～R3)



復帰後における沖縄県営繕行政のあゆみ

完成年度	主な完成施設
S47 1972	戦争資料館（平和祈念資料館）、中央家畜保健衛生所
S48 1973	国民宿舍名護浦荘、名護警察官待機宿舎
S49 1974	八重山警察官待機宿舎、宮古警察官待機宿舎
S50 1975	宮古警察署、八重山職員会館（官公労共済会）、沖縄駐留軍従業員健康福祉センター
S51 1976	糸満警察署、八重山職員住宅
S52 1977	南部林業事務所、八重山厚生園
S53 1978	東京職員住宅、沖縄県勤労者いこいの村、県立八重山病院、伝統工芸指導所
S54 1979	那覇職業訓練校（浦添職業訓練校）、計量検定所
S55 1980	公害衛生研究所、畜産試験場、ウリミバ工大量増殖施設
S56 1981	県立南部病院、宮古職員住宅、農業大学校体育館
S57 1982	宮古保健所、八重山農林土木事務所、奥武山公園プール
S58 1983	中央卸売市場、与那原警察署、コミュニティ防災センター
S59 1984	浦添警察署、名護警察官待機宿舎
S60 1985	県立芸術大学、八重山職員住宅
S61 1986	県総合運動公園体育館、県営眞玉橋市街地住宅、県立那覇西高校
S62 1987	沖縄コンベンションセンター、南部保健所、県営比屋根団地、西崎養護学校
S63 1988	沖縄自由貿易地域施設、精神保健総合センター、那覇警察署、県営鳥堀市街地住宅
H1 1989	沖縄県庁舎行政棟、県立芸術大学音楽棟、八重山土木事務所庁舎、県営与那原第二団地
H2 1990	名護厚生園、県立看護学校、県営桑江団地
H3 1991	県民の森、首里城公園総合休憩所（首里社館）、県立名護病院、沖縄高等養護学校
H4 1992	県立浦添看護学校、水産試験場八重山支場研究棟、美浜高層住宅
H5 1993	県総合運動公園屋内運動場（レクドーム）、北部合同庁舎、宮古厚生園、名護保健所、向陽高校
H6 1994	公文書館、県立芸術大学奏楽堂、西表野生生物保護センター、糸満青年の家、具志川警察署
H7 1995	平和の礎、女性総合センター及び自治研修所、県営兼原高層住宅、名護青年の家
H8 1996	県立武道館、久米島空港旅客ターミナルビル、県消防学校、八重山平和祈念資料館、中央保健所
H9 1997	工業技術センター、知事公舎、宮古合同庁舎、八重山合同庁舎、石嶺児童園、南大東空港、久米島空港
H10 1998	看護大学付属図書館、あざまさんさんビーチ、海軍壕公園ビジターセンター、上間第二市街地住宅
H11 1999	平和祈念資料館、万国津梁館、特別自由貿易地域賃貸工場、埋蔵文化財センター、潮平高層住宅
H12 2000	宮古警察署、栽培漁業センター、古波蔵第3団地、辺戸名高校、西原高校
H13 2001	中部福祉保健所、IT教育センター、仲間港旅客施設、本部港旅客施設、県営平良団地
H14 2002	健康バイオテクノロジー研究開発センター、多良間空港旅客ターミナル、八重山厚生園、総合福祉センター
H15 2003	中央児童相談所、名護養護学校、沖縄水産高校
H16 2004	県営志真志団地、小禄高校
H17 2005	農業研究センター、南風原高校
H18 2006	八重山警察署、動物愛護センター、県営登野城団地、嘉手納高校
H19 2007	平和祈念公園休憩所、豊見城団地、具志川商業高校、与勝高校・与勝緑が丘中学校
H20 2008	ヤンバルクイナ飼育下繁殖施設、北部家畜保健衛生所、宜野座高校、沖縄工業高校
H21 2009	沖縄IT津梁パーク中核機能支援施設A棟、奥武山水泳プール、中部合同庁舎、コザ高校
H22 2010	運転免許センター、八重山特別支援学校、沖縄IT津梁パーク中核機能支援施設B棟、県営名護団地
H23 2011	那覇商業高校、島尻特別支援学校、県営泡瀬団地
H24 2012	水産海洋研究センター、森林資源研究センター、アジアIT研修センター、県営須利原団地
H25 2013	高度技術製造業賃貸工場、浦添大公園エントランス管理事務所、那覇高校、読谷高校、沖縄盲学校
H26 2014	国際物流拠点施設、中央食肉衛生検査所、名護城公園さくら展望台（subaco）
H27 2015	離島児童生徒支援センター、石川青少年の家、県営神森団地
H28 2016	沖縄空手会館、衛生環境研究所、総合運動公園多目的広場競技運営棟、県営大謝名団地
H29 2017	家畜衛生試験場、名護高校、県営南風原第二団地
H30 2018	航空機整備施設、具志川職業能力開発校、県営新川団地
R1 2019	糸満警察署、てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場、奥武山公園体験学習施設、球陽中学校
R2 2020	平和祈念公園バス乗降場上屋、アジアITビジネスセンター、中央家畜保健衛生所、首里高校
R3 2021	おきなわ工芸の杜、高度衛生荷捌施設、那覇みらい支援学校、喜屋武岬園地休憩所、平和祈念公園休憩舎

Ⅱ. 特集－2 沖縄県立那覇みらい支援学校

1. 施設概要 [事業課：教育庁施設課]

所在地：那覇市古波蔵
工期：令和元年10月～令和4年2月
構造・階数：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上4階建
敷地面積：17,858.65 m²
延べ面積：18,052.82 m²

2. 計画概要

那覇南部地区特別支援学校の過密化解消と那覇市在住児童生徒の市外特別支援学校への通学負担軽減のため、新たな特別支援学校を設置することとなった。当支援学校は、3つの教育部門（知的障害、肢体不自由及び病弱）を併せもち、小学部・中学部・高等部の一貫した教育過程の編成となっている。

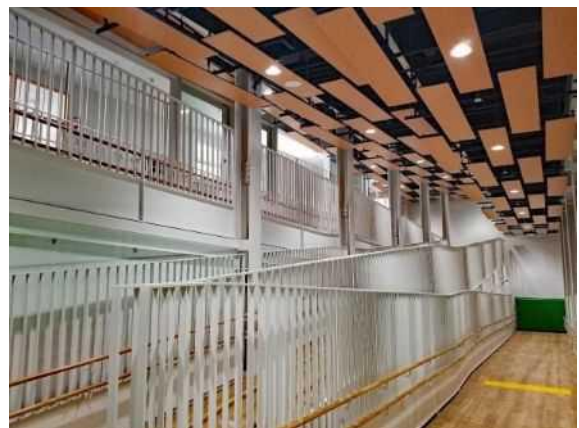
施設計画にあたっては、良好な学習環境を確保するため中庭を囲むユニット教室とし、日照や風通しに配慮した。施設内は段差のない計画とし、スロープコアを施設中央に設け各階への避難経路を確保した。交通安全対策として、登下校送迎入口（ゲート1）・外来出入口（ゲート2：人道橋）・周回道出口（ゲート3）の3つのゲートを配置し、歩車分離を行うことによって利便性及び利用者の安全に配慮した。



外観



西側外観



スロープコア



昇降口



東側中庭



1階 肢体不自由教室



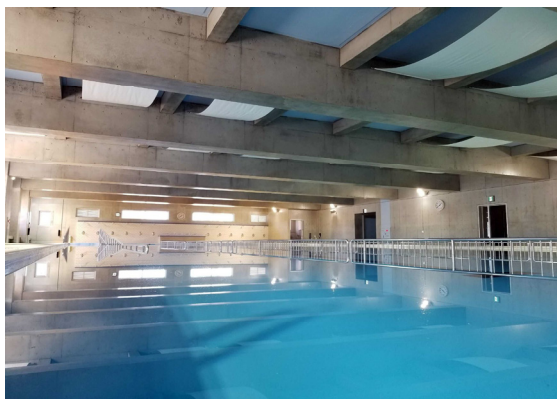
1階 医療的ケア室



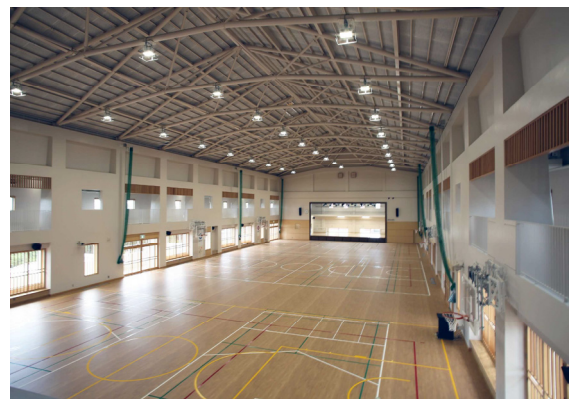
3階 廊下



クールダウン室



1階 屋内温水プール



2階 屋内運動場

Ⅱ. 特集－3 おきなわ工芸の杜

1. 施設概要 【事業課：商工労働部ものづくり振興課】

所在地：豊見城市字豊見城
工期：令和元年10月～令和4年3月
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上3階建
敷地面積：9,787.51 m²
延べ面積：9,162.08 m²

2. 計画概要

おきなわ工芸の杜は、本県の工芸産業の振興・発展のため、技術や技法の高度化、市場ニーズに対応した製品開発、工芸分野の起業家の育成などを推進する施設である。

計画にあたっては、伝統工芸の発展・継承に向けた人・技・情報の交流拠点としての場、作り手も訪れる人もみんなが一体感の中で工芸の真髓を感じることができる「魅せる」空間、沖縄の歴史・風土の中培われてきた特有の形である伝統工芸の美を引き立てる空間の実現を目指した。

外観は、公園の緑や隣接する空手会館との調和を図り、できるだけシンプルにし、外壁を白色系とした。西面には伝統織物柄をモチーフとした日除けルーバー、アプローチ正面には首里城の破損瓦を利用したひんぷんを設置し、正面玄関建具枠は琉球松を使用した。

施設内は、工芸ヴィレッジや工芸ストリートを中心に、にぎわいを創出し回遊性を持たせ、来訪者は館内の展示品や工房での作業の様子を楽しみながら周遊できる施設となっている。



建物全景



エントランス外観



エントランス内観



西側外観



ひんぷん



ロビー



工芸ストリート



工芸ヴィレッジ

高度衛生管理型荷捌施設

1. 施設概要 [事業課：農林水産部水産課]

所在地：糸満市西崎町(糸満漁港内)
工期：令和2年12月～令和4年3月
構造・階数：鉄骨造 地上2階建
敷地面積：22,552.13 m²
延べ面積：6,677.82 m²

2. 計画概要

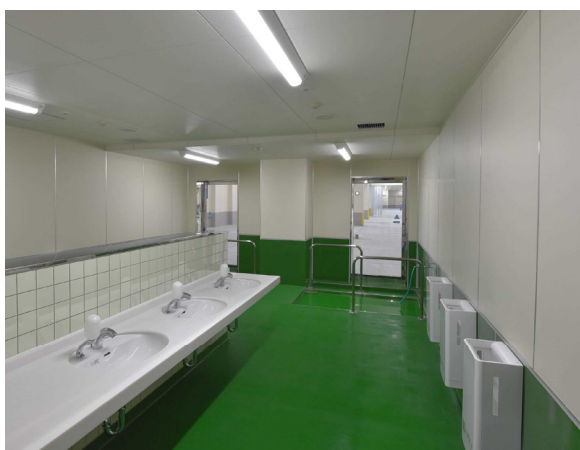
水産市場の整理・統合を推進し、安全・安心な水産物の安定供給体制の確立を図るため、糸満漁港に新たな高度衛生管理型荷捌施設の整備を行った。

施設前面岸壁は、マグロはえ縄船5隻が同時に係留でき、マグロやソデイカその他鮮魚類が陸揚げされ、直接本施設へ搬入する流れとなっている。

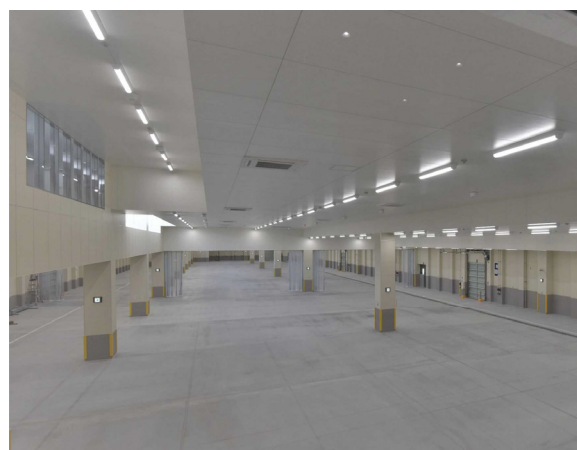
施設内には衛生管理区域を設け、入場前の前室での手や長靴の洗浄など、高度な衛生管理が行われるよう配慮した。また、水産物搬入ゾーン、前処理仕立ゾーン、陳列・販売ゾーン、搬出ゾーンにエリアを分けることで、衛生的かつ効率的な物流の実現を図っている。管理共有エリアにおいて、市場の様子が上部から見渡せる参観通路を設けることで、来場者との交流の促進が期待されている。



外観



場内入口洗浄室



陳列・販売ゾーン

沖縄戦跡国定公園喜屋武岬園地休憩所

1. 施設概要 [事業課：環境部自然保護課]

所在地：糸満市字喜屋武
工期：令和2年12月～令和3年5月
構造・階数：壁式鉄筋コンクリート造 平屋建
敷地面積：365.69 m²
延べ面積：28.03 m²

2. 計画概要

平成30年度に実施されたアンダー40設計競技で金賞受賞を経て計画された建物である。喜屋武岬園地内の休憩所であり、戦争の悲惨さ・平和の尊さを確認できるような施設となっている。

屋根形態は祈りの形をシンプルに表現し平和の塔への軸線に配慮した計画としている。折れ屋根とスラブの構成で軽快にデザインされ、シンボル性のある屋根形状が平和の塔との対比により、祈念の場としての象徴的な空間を演出している。



北側外観



南側外観



アプローチ